

# キリガミネヒオウギアヤメ

被子植物・アヤメ科  
*Iris setosa* var. *hondoensis*

絶滅危惧ⅠB類 (EN)

|                     |
|---------------------|
| 旧レッドリストカテゴリ         |
| 2000 : CR 2007 : EN |

## 形態と生育環境

湿性の草原に生える多年草。ヒオウギアヤメの変種で、花はやや大型で径11-14cm。ヒオウギアヤメやナスヒオウギアヤメ(CR)よりも色が濃い。内花被片はへら形で、長さ25mm内外あり、先が凹入したところに芒状の突起がある。

## 現地調査の集計結果 (2007年調査)

| 「現存する株数」別のメッシュ数 |     |      |       |        |        |    |    |     |
|-----------------|-----|------|-------|--------|--------|----|----|-----|
| <10             | <50 | <100 | <1000 | <10000 | >10000 | 合計 | 絶滅 | その他 |
| 0               | 0   | 0    | 1     | 0      | 0      | 1  | 0  | 0   |
| 危険性の主要因上位3項目の件数 |     |      |       |        |        |    |    |     |
| 自然遷移            |     |      |       | 不明     | 無記入    | 全数 |    |     |
| 1               |     |      |       |        | 0      | 0  | 1  |     |

## 生育地の現状と判定理由 (判定基準 : E)

2007年調査では1メッシュの限られた場所に自生し、数百個体が残されていた。100年後の絶滅率は95%であった。現状は2007年調査時と変化がないと考えられる。

## 都道府県別生育情報 (○ : 生育, × : 絶滅)

都道 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長門県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

現況 ○

# タヌキノシヨクダイ

被子植物・ヒナノシャクジョウ科  
*Thismia abei*

絶滅危惧ⅠB類 (EN)

|                     |
|---------------------|
| 旧レッドリストカテゴリ         |
| 2000 : CR 2007 : EN |

## 形態と生育環境

照葉樹林下の落葉の下に生える帯白色の小型の菌従属栄養性の多年草。高さ1-4cmの花茎が立つが、ほとんど落葉の下に隠れている。花茎は繊細で無毛、数個の鱗片葉がある。花は7-8月、花茎の頂に1個つき、白色で、壺形の花筒は長さ10mm内外。日本固有種。

## 現地調査の集計結果 (2007年調査)

| 「現存する株数」別のメッシュ数 |      |      |       |        |        |    |    |     |
|-----------------|------|------|-------|--------|--------|----|----|-----|
| <10             | <50  | <100 | <1000 | <10000 | >10000 | 合計 | 絶滅 | その他 |
| 1               | 2    | 0    | 0     | 0      | 0      | 3  | 0  | 1   |
| 危険性の主要因上位3項目の件数 |      |      |       |        |        |    |    |     |
| 自然遷移            | 道路工事 | 土地造成 | 不明    | 無記入    | 全数     |    |    |     |
| 2               | 1    | 1    | 0     | 0      | 4      |    |    |     |

## 生育地の現状と判定理由 (判定基準 : C)

2007年調査では3メッシュで計数十個体の現存が推定された。現状は2007年調査時と変化がないと考えられる。

## 都道府県別生育情報 (○ : 生育, × : 絶滅)

都道 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長門県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

現況 ○ ○

# ヒゼンコウガイゼキショウ

被子植物・イグサ科  
*Juncus hizenensis*

絶滅危惧ⅠB類 (EN)

|                     |
|---------------------|
| 旧レッドリストカテゴリ         |
| 2000 : CR 2007 : EN |

## 形態と生育環境

湿地に生える多年草。コウガイゼキショウと形態的特徴は一致するが、頭花は少なく、蒴果は花被片より超出する。コウガイゼキショウとは分類群として区別できない可能性がある。

## 現地調査の集計結果 (2007年調査)

| 「現存する株数」別のメッシュ数 |      |      |       |        |        |    |    |     |
|-----------------|------|------|-------|--------|--------|----|----|-----|
| <10             | <50  | <100 | <1000 | <10000 | >10000 | 合計 | 絶滅 | その他 |
| 0               | 0    | 1    | 0     | 0      | 0      | 1  | 0  | 0   |
| 危険性の主要因上位3項目の件数 |      |      |       |        |        |    |    |     |
| 園芸採取            | 土地造成 |      |       | 不明     | 無記入    | 全数 |    |     |
| 1               | 1    |      |       |        | 0      | 0  | 1  |     |

## 生育地の現状と判定理由 (判定基準 : ACD)

2007年調査では1メッシュで数十個体が現存していた。平均減少率は25%であった。現状は2007年調査時と変化がないと考えられる。

## 都道府県別生育情報 (○ : 生育, × : 絶滅)

都道 北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長門県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

現況 ○